



「いよいよ通常（全員）登校へ」

教頭（参与） 片山 利明

令和2年度がスタートして、早くも7月を迎えました。総勢278名の児童生徒は、明るく元気に学校生活を過ごしています。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止のため年度当初より始業式、入学式は実施したものの学部別（高等部は学年別）の分散登校、政府の緊急事態宣言発令後のゴールデンウィーク明けから5月末日までは臨時休業、そして緊急事態宣言が解除となり6月1日から3週間は、学部・学年を単位とした段階的な分散登校を行い、いよいよ6月22日（月）から通常（全員）登校となりました。

この間保護者の皆様には、多大なご理解とご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

今校内には、児童生徒の元気な声が響き渡っています。朝の会や運動、教科や作業学習など学習活動に熱心に取り組んでいる姿が随所に見られます。高等部では卒業後を見据え現場実習が実施されています。また待望の部活動（平日）も始まりました。

139名の教職員は、「主役である児童生徒がいてこそ学校である」思いを再認識し、一日一日を大切に一人一人のニーズに応じた指導・支援に取り組んでいます。

本校は本年度、創立10周年を迎えました。今日まで培った素晴らしい伝統と誇りを胸に、今後も感染予防とともに熱中症への対策を取りながら、児童生徒の教育活動の一層の推進に努めて参ります。

引き続き保護者の皆様には、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

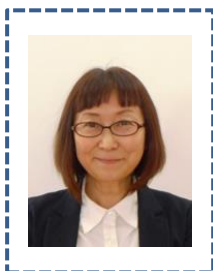


## 10周年に向けて

本校は開校から10周年を迎えます。先月に引き続き10周年に向けての先生方の思いを掲載します。今月はこのお二人にお話を伺いました。

～10周年に向けて～

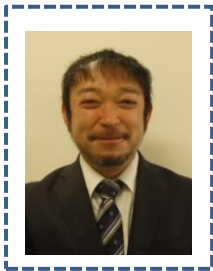
高等部 鈴木 裕子



開校と同時に着任して10年目になります。開校の年は鮮やかな思い出ばかりですが、一番思い出すのは窯元あらかわでのスタートです。6月10日の『開校記念式典』の記念品を校長先生から頼まれ、生徒10名と教員4名で一丸となってペーパーウェイト作りをしました。注文の200個、納入完了！！その瞬間、嬉しくてみんなで万歳三唱しました。今思えば、窯の試運転もまだの状態、無謀な挑戦でしたが、仕事をやり遂げた後の達成感と喜びを共に感じることでできた、貴重で忘れられない思い出です。

～10周年に向けて～

自立活動部 高木 佑樹



開校2年目に深谷はばたきに赴任しましたので、今年で9年目になります。赴任した頃は翌日の授業計画もままならず、毎日夜遅くまで学校に残り授業準備をしていたことを思い出します。同じ学部の同僚と夜食を食べに校外に出掛け、学校に戻って再び仕事に励むこともよくありました。昨今の「働き方改革」とは真逆の働き方をしていましたね。でも、忙しかったけれど若手教師が多く、活気に溢れた学校でした。開校10年目になり、成熟期を迎えた今となっては、古き良き思い出です。今では毎日17時半に勤務終了しています。